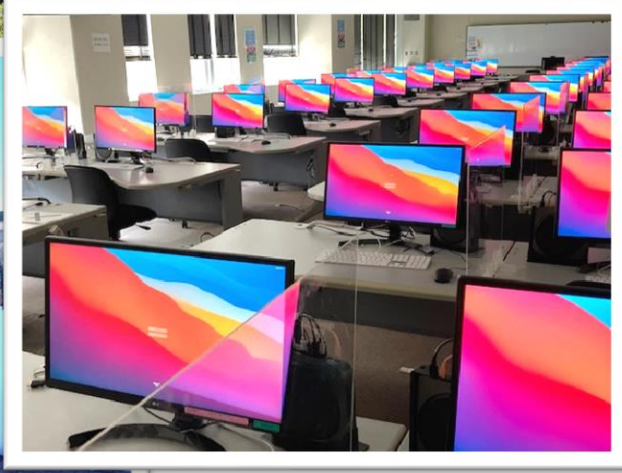




TOP GLOBAL  
UNIVERSITY  
JAPAN

# 会津から世界へ 世界から会津へ

会津大学 スーパーグローバル大学創成支援事業の取り組み  
[2020-2022 ～コロナ禍でのグローバル教育の進捗～]



公立大学法人 会津大学  
The University of Aizu

# 会津大学が目指す姿

文部科学省採択事業  
スーパーグローバル大学創成支援事業  
(以下「SGU事業」という)  
(タイプB グローバル牽引型) 2014-2023年度

会津大学の特色である「高度なICT 専門教育」、  
外国人教員による教育」、  
「ベンチャー精神をはぐくむ教育」の3つを活かし、

- 1) 福島県の復興・創生を担う人材の育成・輩出
- 2) 世界的なICT企業で活躍することができる人材の育成・輩出
- 3) ベンチャー精神をもって世界的に活躍するICT人材の育成・輩出

を目指すため、以下のような環境・体制の整備を進めてまいりました。

## 教育プログラムの整備

### オナーズプログラム



「学部・修士一貫型」全英語環境で研究できる本学大学院への進学を促進するプログラム、「異才発掘型」特異な才能を持つ学生を早期に発掘、育成する2種類の制度を整備しました。

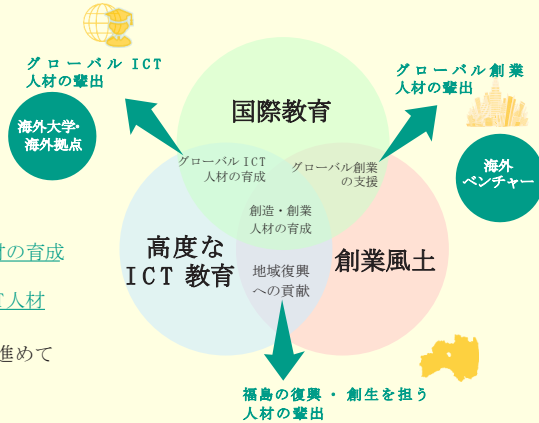
- 【事業で実現したこと】
- ◆ 修業年数を短縮させ、1年間を特別休学として、グローバルな活動に参加できるようになりました。
  - ◆ 国際的なコンテストやイベントへの参加支援体制が確立しました。

### ICTグローバルプログラム全英語コース (ICTGコース)



学部の授業を英語で履修・卒業できるコースを設置しました。また途中から日本人学生が同コースに在籍する制度を開始し、英語環境に身を置きながら学修できる制度が確立しました。

- 【事業で実現したこと】
- ◆ 全学部学生のうち9.2%の学生(2022年10現在)が同コースに在籍、修了生が国内外で活躍しています。
  - ◆ 留学生のために「日本語」科目を単位化しました。



## 国際交流環境の整備

### グローバルラウンジ



日本人学生と留学生が自由に交流するラウンジを整備しました。

### バディプログラム



留学生と日本人学生が「バディ」を組み、ペアで交流するプログラムです。多文化理解と英語力向上に貢献しています。

### 会津ギーク道場 (Aizu Geek Dojo)



3Dプリンタとレーザーカッターを備え、電子工作のための材料や工具もある、新しいタイプの工房です。創業のための交流の機能も備えています。

## 企業・団体との連携

- ・ 地元の財団からグローバル創業教育への支援として、学部学生向けの2つの寄附講座が開設。財団と連携して起業家人材育成の裾野を広げています。
- ・ 複数の地元企業・団体や上場企業から派遣に係る学生助成金を受領しています。アメリカ、中国、ベトナムの3つの派遣プログラムにおいて多くの学生が海外の企業活動や創業活動を学ぶ機会を得ています。

# 会津大学SGU事業のプログラムで成長した学生達

※取材当時の学年

## オナーズプログラム

ささき ひろと  
佐々木 大翔 さん (2019年度4月入学 博士前期課程1年)

大学院進学は入学当初から希望しており、学部3年後期にオナーズプログラムに学生に認定されました。学部生を1年短縮したため多忙なスケジュールで卒論を書き上げました。大学院では、授業と研究が完全に英語で行われ、留学生も大勢いる生活が普通となっているこの環境を楽しんでいます。2022年度夏に、アルプスアルパイン株式会社のインターンシップに参加しました。配属された部門で様々な就業体験をさせて頂き、入念に準備して臨んだ報告会では満足いく発表をすることができました。在学中にコンピュータサイエンスを更に広く深く学び、修了後は福島県内、できれば地元の市に貢献したいです。



## ICTグローバルプログラム全英語コース (ICTGコース)

バンダ ディティプリヤ さん (2021年度10月入学 インド出身 ICTGコース 学部2年)

私にとっての会津大学の魅力は、柔軟な教育方針、幅広いカリキュラム、多様性、そしてフレンドリーな雰囲気です。学修だけでなく、人間的にも成長できる様々な素晴らしいチャンスを得ています。実りの多い学びの時間と、冒険と挑戦ができる時間が絶妙にブレンドされた大学生活を、とても楽しんでいます。



こんの せいこう  
今野 晴久郎 さん (2021年度4月入学 ICTGコース 学部2年)

2年生からICTGコースに在籍しました。英語で授業を受けると内容の理解が中途半端にならないかと心配もありましたが、留学生と頑張ってコミュニケーションをとり、協力して課題を解いたりしました。苦労しながらも、生活に英語を組み込むことによって、確実に英語力がついてきたことに気づきました。また生きた英語を体感したことで、自分の能力や現実がはっきりし始め、やりたいことについて具体的に考えるきっかけにもなりました。



## 技術革新・創業基礎・海外研修科目群の創設

### 【イノベーション・創業教育プログラム (ISEP)】

あさか けいご  
袴坂 圭吾 さん (2019年度4月入学 学部4年)

ISEPの認定科目である「ベンチャー基本コース各論」で自己分析についての講義があり自己理解を深められたこと、シリコンバレーインターンシップ代替プログラムで最新のAIツールを使ってみるの体験が印象的でした。学部時代を振り返ると忙しくも充実した日々でした。就活では経験をうまくアピールし、志望企業から内定を得ることができました。



いしかわ たつや  
石川 達也 さん (2021年度4月入学 学部2年)

私は情報活用能力が人生を主体的に切り拓くために必要な力だと信じていることから、「情報教育で子どもたちの可能性と選択肢を広げること」に最も興味を持って取り組んでいます。起業も視野に入れているため、現在ISEPに参加して、科目履修の他、交流のネットワークを広げたりビジネスアイデアのブラッシュアップしたりしています。2023年度に塾事業を開始したいと思っています。その準備として、高校生向け「情報I」の教材作成、市内の高校で情報の課外授業やキャリア教育、情報の楽しさを伝えるイベント開催などを行っています。



### 【海外留学・海外インターンシッププログラム】

もりや あかり  
森谷 明莉 さん (2022年度4月入学 学部1年)

◆ベトナムインターンシップ代替プログラム (オンライン)  
英語が好きで、将来英語を使って仕事をしたいのでビジネス英語に触れたかったこと、大学で学び始めたコンピュータの技術を高めたかったので、プログラムに参加しました。最初は4週間という長い期間を乗り切れるのかと少し不安でしたが、マーケティングスキルを得て、インターンシップを英語でやり切ったことで自信ができました。



### 【学生を受け入れた企業の指導者の声】

グエン コン ソン さん OHI マーケティング マネージャー (ベトナム)

森谷 明莉さんは調査力、処理力が高く、タスクのために沢山の情報を探し出してくれました。向上心が強く英語で積極的に発言し、質問してくれました。時間を守り、仕事を効率的に仕上げてくれました。インターンシップでの努力に感謝するとともに、成長を見ることができて、嬉しかったです。



## コロナ禍における会津大学のグローバル教育への取組

2020年度から現在まで、コロナ禍で大学のグローバル化に向けた取り組みは大きな影響を受けています。しかし一方で、オンライン教育には様々なメリットがあることも明らかになりました。海外学生、研究者や経営者と身近に交流しネットワークを広げられること、柔軟に海外大学の授業を履修できることなど、国際交流の形態多様性を生み出しました。

### オナーズプログラム

#### 【進捗】

近年、大学院進学に向けて研究室への早期配属等の特典を受けることができる「オナーズ候補者」への参加や、学部早期卒業・大学院に進学する「学部・修士一貫型」にて大学院に進学する学生が増え、全英語で開講される本学大学院に進学する学生が増えてきています。最長1年間の特別休学を取得する学生もいます。

### ICTグローバルプログラム全英語コース (ICTGコース)

#### 【進捗】

ICTGコースの学内認知度が向上し、体験授業参加者の68%が同コースに登録するなど、英語で専門科目を履修する学生が増えています。

ICTGコース参加者の中から、自己の語学力を武器にグローバルな事業を展開する企業に就職した者や、グローバルな知見を持って地域企業で活躍する者を輩出し、それぞれの目的に応じた国際的なエンジニアとして育てています。

#### 【コロナ禍での対応】

コロナ禍により特別休学を利用した留学等が困難な状況となっていました。2022年頃からの社会での弾力的な緩和に伴い、特別休学を活用して起業や留学、インターンシップに参加する学生が増えました。



#### 【コロナ禍での対応】

コロナの影響により留学生の募集活動が制限されていた一方で、オンラインキャンパスツアー、オンライン進学相談会など、柔軟な募集活動を展開。コロナ前よりも本学のICTGコースの世界的認知度が向上しました。その結果、2022年度の出願者は前年度の約1.7倍に増加し、出願者数および国籍・地域も多様化しています。

また、10月編入学の他に、4月編入学を新設しました。今後は編入学生の増加が望まれます。

### 技術革新・創業基礎・海外研修科目群の創設

【進捗】 グローバルな意識醸成を図るため留学プログラムの多様化を図り、グローバル創業教育では、目的別プログラムを設定、学生のニーズに合ったプログラムの提供をしています。また、コロナ禍により、オンライン併用によるプログラムの拡充にも取り組んでいます。

#### 【コロナ禍での対応】

##### 留学プログラムにおけるオンラインの活用

コロナ禍における渡航制限のため、2021年度からローズハルマン工科大学（アメリカ）との交流を含む夏季の国内研修「留学準備のための英語体験プログラム」を新設しました。またオストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学（ドイツ）のオンライン履修が実施されました。



海外の学生とのオンライン文化交流

##### シリコンバレーインターンシッププログラム

2020年度よりシリコンバレーインターンシッププログラムでは、前半に学内での開発研修の他、部品製造元であるアメリカ企業との技術発表・交流を実施しています。後半にシリコンバレーエンジニアとのオンライン技術開発交流や現地創業者との交流を2週間行いました。2022年度は3年ぶりに現地派遣が実施される予定で、2023年2月～3月の派遣に向けて、準備を進めています。



シリコンバレーインターンシッププログラム (事前研修)

##### ベトナムインターンシップ代替プログラム

2021年度より、協定校であるベトナム・FPT大学とオンラインによるインターンシッププログラムを実施しています。最初の1週間はFPT大学にて英語によるビジネス基礎研修を受け、次の3週間はベトナムのスタートアップ企業にてシステム開発やマーケティングリサーチを行っています。



ベトナムインターンシップ代替プログラム

##### DNAインターンシップ代替プログラム

中国の私立大学でオンラインによるビジネス研修を受けた他、日本のグローバル企業の中国事業所で中国事業について学びを深めています。(DNAとは：D(中国・大連)・N(Neusoft, 中国の企業)・A(会津とAlps Alpine)の3つの頭文字をとって名付けた国際的な人材育成スキームのこと)

### グローバルラウンジ活動

グローバルラウンジ活動は、コロナ禍により、オンラインツールを活用したアクティビティが一気に進みました。特にインターナショナルトークでは、海外協定大学の学生と本学の学生によるプレゼンテーションを通して、相互の交流が深まりました。グローバルラウンジを活用しながら、誰もが参加しやすい活動へと大きく変化し、より多くの学生が国際的な交流に参加するようになりました。



インターナショナルトーク

## 会津大生の英語力向上への取組 (2020-2022)

本学では、学生の英語力向上のため、全学一丸となって取り組むとともに、国際的に広く利用されている外部試験を指標として用い、自己の英語力測定を始めるアクションを展開してきました。2021年度は主に学部学生に対して働きかけを強化した他、2022年度はこれを大学院まで広げました。現在までに更なる学生の英語力の向上のために日々学生たちに働きかけを行う活動を継続しています。

本学語学研究センターが中心となり、以下のような取組を行い、学生のTOEICスコアが確実に上昇しています。

- ・教職員による学生個別ガイダンスの実施。
- ・TOEICアドバイザーの配置と、TOEIC直前対策講座の実施。
- ・TOEIC学内目標点を突破した学生は、得点に応じた色のチャーム（キーホルダー）を獲得できる「Go Beyond 500!」キャンペーンを実施中。<図1>
- ・クラス別のTOEIC学内目標点達成率を学内に掲示し、TOEIC受験を促した。<図2>
- ・TOEIC対策書籍(約380冊)を大学図書館で開架し、TOEIC対策コーナーを開設。<図3>
- ・2022年度以降の英語カリキュラムの変更：
  - (1) 英語選択科目で、TOEICオンラインの受験を必須化。
  - (2) TOEIC750点を獲得した学生は英語選択科目の単位認定を申請可能にした。
  - (3) TOEIC650点以上を獲得している2年生までの学生は、英語選択科目の早期履修を申請可能にした。
- ・2022年度および2023年度入学者に対しTOEIC対策図書を外資資金を利用し購入・配布。
- ・TOEIC受験奨励ポスターを研究室等に掲示。<図4>
- ・博士前期課程1年生に対して、TOEIC対策書籍を配布。

### ◆ 学生の声 ※取材当時の学生



しらいかほ 白井 香帆 さん (2020年度4月入学 学部3年)

過去3回の受験でスコアを上げてきました。金色チャームをもらいました。今後はリーディングにもっと力を入れ、満点を目指します。それまでTOEICを受験し続けます。大好きな英語と大学で得られるスキルで、卒業後はグローバルな企業で働きたいです。



たかはしかずお 高橋 楓 さん (2020年度4月入学 学部3年)

プログラミングの公式ドキュメントは英語で記載されており、常に新しい情報が更新されますので、英語読解力は必須です。TOEIC受験は2回目です。英語力確認のつもりで受け、金色チャームをもらいました。今後は、大学院で研究を深めた後、ゲームメーカーでエンジニアとして働きたいです。



かすや しんすけ 粕谷 俊介 さん (2022年度4月入学 学部1年)

履修しているTOEIC準備コースでテストの傾向をつかんでからTOEICを初受験しました。今回の結果によって銀色チャームをもらえて、今後満点を狙うくらいのモチベーションがわきました。コンピュータも英語も大好きで、大学生活にワクワクしています。



次のTOEIC IP 2023年1月7日(土) (受験希望者)



<図1> 学生のTOEIC受験後の感想を掲載したTOEIC受験奨励ポスター



<図2> 学内数か所に掲示されたTOEICスコアグラフ



<図3> TOEIC対策コーナーを開設した大学図書館



<図4> 博士前期・後期課程学生にTOEIC IP受験を奨励するポスター

# 奨学寄附金のご報告

会津大学スーパーグローバル創成支援事業は、国からの補助金の他に、地域企業や財団他の方々からの奨学寄附金等のご協力により支えられています。コロナ禍の影響で企業・団体等への訪問が制限されたにも関わらず、前年度と同等程度の奨学寄附金を得ることができました。

## ◆2022年度奨学寄附金の主な利用用途 (2022年12月現在) (総額 8,400,000円)

- ・ものづくりと創業関係施設 Aizu Geek Dojo拡大
- ・本学学部生・大学院生の英語運用能力向上に係る施策 (受験料の補助、書籍購入)
- ・海外インターンシッププログラム参加に係る助成
- ・国内先端技術見学に係る助成

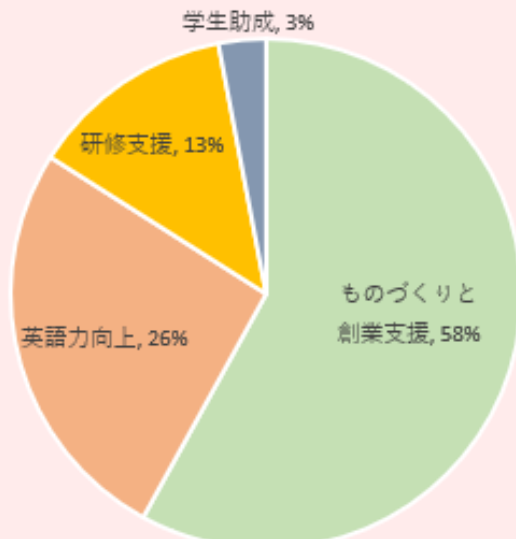
## ◆2022年度御寄附いただきました関係者の皆様

(五十音順・敬称略)

- ・会津経済倶楽部 ・アルプスアルパイン株式会社
- ・株式会社小松崎 ・サイバートラスト株式会社
- ・一般財団法人 地域ベンチャー創成支援財団
- ・株式会社トコム

## ◆Aizu Geek Dojoの創業機能拡張

2022年8月、地域ベンチャー創成支援財団様からのご支援により、創業機能とものづくり機能を有する新Aizu Geek Dojoが開所しました。今まで以上にたくさんの学生が利用することで、外部団体等との連携強化のみならず、技術交流からグローバル創業に繋がることも期待できます。既に同財団の創業イベントを実施した他、県内大手企業の技術講習会を実施しています。



2022年度SGU事業に係る奨学寄附金の主な用途



Aizu Geek Dojo 開所式

### 【ご寄附のお願い】

#### 大学グローバル化推進、グローバル創業教育実現にご支援下さい

本学では、2024年度からのスーパーグローバル大学創成支援事業（SGU事業）補助金終了とグローバル化推進のため自立的な運営をさらに促進するため、外部企業・団体等に働きかけ、奨学寄附金によるプログラムの拡大に努めています。

会津大学の根幹は「国際性」にあります。日本人学生と留学生、世界から集まった教員が会津大学につどい、世界に打って出ていく。この国際的な関係性こそが、地域社会そして日本社会に相乗的な成果を生み出します。

本学グローバル化推進についてご支援頂く団体・個人の皆様を募集しております。寄附金を納入頂ける方々におきましては、法人の場合、寄附金を損金に算入することができる他、個人の場合、確定申告により所得税の寄付金控除を受けることができます。

奨学寄附金のご案内⇒ [https://u-aizu.ac.jp/sgu/info/news/post\\_41.html](https://u-aizu.ac.jp/sgu/info/news/post_41.html)



## 会津大学のご紹介

会津大学は1993年に開学した日本最初のコンピュータ理工学専門の大学です。会津大学は、「地域から世界へ」と「to Advance Knowledge for Humanity」（人類の平和と繁栄のために発明・発見を行うこと）を建学の理念とし、開学以来全国でも類を見ないほど、研究業績の優れた多数の外国人教員をそろえ、国際社会をリードする研究開発・教育を行ってきました。

会津には教育のチカラで社会を動かしてきた伝統があります。その精神は会津大学にも受け継がれ、確かな知識・技術を身に付け、世界で活躍できる人材を輩出しています。

### お問い合わせ

## 公立大学法人 会津大学

〒965-8580  
福島県会津若松市一箕町鶴賀上居合90  
グローバル推進本部  
スーパーグローバル大学推進室  
Tel: 0242-37-2701  
Fax: 0242-37-2766  
E-mail: [sgu-adm@u-aizu.ac.jp](mailto:sgu-adm@u-aizu.ac.jp)  
Official Website:  
<https://u-aizu.ac.jp/sgu/>  
スマートフォンの方はこちら→

